

## 戦後70年平和祈念写真展

戦時中の写真や物品などを展示した写真展を開催します。

### ▶日 時

8月13日(木)～25日(火)

【市役所】午前8時30分～午後5時15分(土・日曜日を除く)

【コミュニティセンターみずしろ】

午前9時～午後9時30分(8月19日は休館)

▶場 所 市役所1階ロビーおよびコミュニティセンターみずしろ1階ギャラリー



## 平和のためのポスターコンクール およびポスター展

市内の小・中学生を対象に、「戦争のない平和な世界」をテーマとしたポスターコンクールおよび応募作品を展示するポスター展を開催します。

### ▶募集テーマ 戦争のない平和な世界

▶応募方法 四つ切画用紙にポスターカラーや絵の具を用いてテーマに沿った作品を描き、裏面に学校名、学年、氏名(ふりがな)を明記の上、各学校に提出してください。

▶応募締め切り 9月11日(金)午後5時まで

▶賞 小学生の部・中学生の部、各最優秀賞1点、優秀賞数点

▶特典 入賞者に賞状と記念品、参加者全員に参加賞を贈呈します。

▶作品展示 11月以降に市役所およびコミュニティセンターみずしろに展示します。

その他、図書館および郷土博物館でも平和展示などを行います。

## 図書館

戦争の本をまとめた特設コーナーを図書館内に設置

▶期 間 8月1日(土)～20日(木)

## 郷土博物館

特設コーナーで戦時中の資料やパネルを展示

▶期 間 8月30日(日)まで

▶場 所 郷土博物館ラウンジ

▶テ マ 「出征兵士」、「戦時中の暮らし」、「戦時中の教育」

戦時中をテーマにした映画の上映

▶日 時 8月15日(土)午後1時

▶場 所 郷土博物館講座室

▶内 容 最後の空襲—熊谷—

▶この記事に関する問い合わせ 地域づくり支援課くらし安心担当(内線252)

## 平和を考えるイベント

8月25日(火)にコミュニティセンターみずしろで、次のとおり平和を考えるイベントを開催します。

### ①アート書道家・美蓮(小蘭江美幸さん)による、平和をテーマにした書道パフォーマンスとアート書入門講座

▶時 間 午後1時30分～2時50分

▶場 所

【書道パフォーマンス】

1階ギャラリー

【アート書入門講座】

101会議室

▶定 員

30人(先着順)

▶参加費 200円

▶その他 作成したアート書は、被爆体験者講演会終了後にお渡しします。



行田市生まれ。7歳から書道を始め13歳で師範免許を取得、書道で数々の賞を受賞。現在は「さくら教室」を主宰し、枠にとられないアート書、筆文字の楽しさを多くの人に伝えるため、精力的に活動中。

### ②被爆体験者講演会

▶時 間 午後3時～4時

▶場 所 1階ギャラリー

▶内 容 原明範さん(埼玉県原爆被爆者協議会事務局長)を招き、広島で被爆したときの体験談を語っていただきます。



広島市生まれ。昭和20年8月6日、3歳のときに被爆。現在は「埼玉県原爆被害者協議会」の事務局長として、自身の被爆体験談について講演する他、被爆者のための政府交渉に参加するなど、被爆の実態と核廃絶を訴えて活動中。

①②いずれも

▶申し込み・問い合わせ 8月19日(木)までに電話で地域づくり支援課くらし安心担当(内線252)※FAXでの申し込みも可。その場合は氏名、住所、電話番号を明記すること【FAX】556-3083

# 戦後70年 平和への願い を込めて

今年は、多くの尊い命が犠牲となった先の戦争から70年目の節目の年です。

戦争は、一度に多くの尊い命を奪うとても恐ろしいものです。しかしながら、戦争を体験した人は年々減り続け、戦争の忌まわしい記憶も遠い過去の出来事となりつつあります。

私たちは、日々の平穏な暮らしの中で、平和の大切さや尊さを忘れがちになっています。恒久平和は世界の人々の願いであり、今を生きる私たちは、戦争の教訓を後世に伝えていかなければなりません。

市では、今年度さまざまな平和事業を実施します。今一度、戦争の悲惨さや恐ろしさ、平和の大切さについて考えてみませんか。

※写真は水城公園内に建っている行田市英霊塔。本市戦没者の名前が記されています。

行田市は「日本非核宣言自治体協議会」および「平和首長会議」に加盟しています。

本市は平成3年3月に「平和都市宣言」を、平成13年3月に「非核平和都市宣言」を市議会で議決しており、「日本非核宣言自治体協議会」および「平和首長会議」にも加盟しています。

日本非核宣言自治体協議会とは、「核戦争による人類絶滅の危機から住民一人ひとりの生命とくらしを守り、現在および将来の国民のために世界恒久平和の実現に寄与する」という趣旨のもと、1984年に広島県安芸郡府中町で設立された組織です。平成27年6月1日現在、全国310自治体、県内4自治体(行田市、鴻巣市、北本市、富士見市)が加盟し、核兵器廃絶と恒久平和の実現を世界の自治体に呼び掛けています。

また、平和首長会議とは、世界の都市が連携し核廃絶への道を切り開くため、広島・長崎の両首長が昭和57年に提唱した「核兵器廃絶に向けての都市連携計画」に賛同する都市(自治体)で構成された機構です。平成27年6月1日現在、世界150カ国、6千706都市、国内1千561都市が加盟しています。

市では、平成26年度に「戦争記録集」を作成しました。戦争体験談や戦時中の写真、行田市史などをまとめた資料となっています。市内小・中学校や公民館などの公共施設に配架していますので、ぜひご覧ください。